『モバイル3Dの動向と今後の展望』レポート資料を販売開始 ～今度こそ普及なるか シャープが注力するモバイル3D市場～

==========
『モバイル3Dの動向と今後の展望』レポート資料を販売開始

～今度こそ普及なるか シャープが注力するモバイル3D市場～

≫ 『モバイル3Dの動向と今後の展望』 資料詳細・販売ページ
http://surveyreport.planidea.jp/products/detail.php?product_id=420
==========

マーケティング・リサーチ＆コンサルティングサービスを提供するPLANiDEA LLC.
（プラニディア合同会社）
は、モバイルマーケティング専門レポートの企画・制作を行っているエムレポートによる
『モバイル3Dの動向と今後の展望』 の販売を開始しました。

≫ 『モバイル3Dの動向と今後の展望』
http://surveyreport.planidea.jp/products/detail.php?product_id=420

【資料概要】

＜今度こそ普及なるか シャープが注力するモバイル3D市場＞

当資料 『モバイル3Dの動向と今後の展望』
は、3D液晶搭載端末の販売動向、携帯電話事業者各社やシャープを中心とした3D液晶搭載端末・3Dコンテンツに関する最新動向、モバイル3Dの普及拡大要因/普及阻害要因など、モバイル3Dに関する業界の最新動向を概観するための資料です。

02年に国内初の3D液晶搭載端末が登場
最近、3D液晶搭載端末の品揃えが増えつつある。しかし、国内市場において、3D液晶搭載端末が市場投入されたのは2002年11月 に遡る。シャープが NTTドコモへ 「mova SH251iS」
を納入したのだ。ただ、当時、鳴り物入りで投入されたmova
SH251iSも大きく普及するには至らなかった。

現在は大手事業者3社が3D液晶搭載端末を投入
第二期ともいえる今回の3D液晶搭載端末の市場投入は日立製作所が口火を切っている。日立製作所は2009年12月 にKDDI （au） へ一般的な携帯電話端末 （フィーチャー・フォン）
としての3D液晶搭載端末を納入した。一方、シャープは2010年12月
にNTTドコモとソフトバンクモバイルへスマート・フォンとしての3D液晶搭載端末を納入している。また、シャープは3Dコンテンツのコンテストを実施するなど普及に力を注ぐ。

今後はNintendo 3DSがモバイル3Dを牽引
ジーエフケー マーケティングサービス

ジャパンによる携帯電話端末の販売ランキングによれば、総合ランキングにおいて、「ドコモスマートフォン LYNX 3D SH-03C」
は販売開始初期には第3位以内を維持していたという。ただ、現在では中位以下に落ちており、3D液晶搭載端末が爆発的な普及はみせていない。しかし、今後は 「Nintendo 3DS」
などの携帯ゲーム機の3D化により、大いに普及が見込めそうだ。

【キーワード】

今度こそモバイル3Dは普及するか！
シャープは2002年11月16日 にNTTドコモ向け 「mova SH251iS」 に引き続き、2003年6月20日 にもNTTドコモ向け 「mova SH505i」 の3D液晶搭載端末を市場投入した。mova SH251iSの販売時には液晶部分が本物のプロモーション向けmova SH251iSを用意したものの普及には至らなかった。

3Dコンテンツにも注力するシャープ！
シャープは3D液晶搭載端末を市場投入するだけでなく、2010年12月 から3Dコンテストを実施している。また、全国で3Dコンテンツの体験イベントも開催しており、今後は3Dゲームなどのコンテストも企画しているとされる。さらに2011年4月 からは3DコンテストにCG・アニメーション部門を新設する考えだ。

モバイル3D普及の切り札は！
当初、モバイル3Dは3D対応TVの普及を追い風に普及するものとみられていた。しかし、3D対応TVの普及の低さからモバイル3Dも普及するには至っていない。そのため現在では 「Nintendo 3DS」などのゲーム機の3D化により、3D液晶に対する認知度が高まることでモバイル3Dの普及が見込めそうだ。

【3D液晶搭載端末の販売動向】

販売開始初期は総合でも第3位以内を記録したLYNX 3D SH-03C
2011年2月14日 から2月20日 時点において、ジーエフケー マーケティングサービス ジャパンによる携帯電話端末の販売ランキングの順位をみると、「LYNX 3D SH-03C」
は総合ランキングでも中位に位置している。一方、「GALAPAGOS SoftBank 003SH」
は下位以下となり、現在では圏外となってしまった。特にSH-03Cは販売3週目まで第3位以内の座を獲得していた。

【資料目次】

・ 要約
・ キーワード

1. 市場概況

02年に国内初の3D液晶搭載端末が登場
現在は大手事業者3社が3D液晶搭載端末を投入
表 ： 国内市場における3D液晶搭載端末の変遷
今後はNintendo 3DSがモバイル3Dを牽引

2. 3D液晶搭載端末の販売動向

販売開始初期は総合でも第3位以内を記録したLYNX 3D SH-03C
図 ： 総合ランキングにおけるSH-03Cと003SHの販売動向　(2010/11/29～2011/3/6)
表 ： 総合ランキングにおけるSH-03Cと003SHの販売動向　(2010/11/29～2011/1/2)
表 ： 総合ランキングにおけるSH-03Cと003SHの販売動向　(2011/1/9～2/6)
表 ： 総合ランキングにおけるSH-03Cと003SHの販売動向　(2011/2/7～3/6)
総合では中位も事業者別は第3位のLYNX 3D SH-03C
図 ： LYNX 3D SH-03Cの販売動向　(2010/11/29～2011/3/6)
表 ： LYNX 3D SH-03Cの販売動向　(2010/11/29～2011/1/16)
表 ： LYNX 3D SH-03Cの販売動向　(2011/1/17～3/6)
総合では圏外も事業者別は上位に位置する003SH
図 ： GALAPAGOS SoftBank 003SHの販売動向　(2010/11/29～2011/3/6)
表 ： GALAPAGOS SoftBank 003SHの販売動向　(2010/12/13～2011/1/23)
表 ： GALAPAGOS SoftBank 003SHの販売動向　(2011/1/24～3/6)

3. 携帯電話事業者各社の動向

NTTドコモの動向
LTE時代には端末でも3D液晶搭載が定着
2010年12月 からLYNX 3D SH-03Cの販売を開始
表 ： LYNX 3D SH-03Cの主な仕様
図 ： LYNX 3D SH-03C　(Fairy blue)
表 ： LYNX 3D SH-03Cの主な機能
CEATEC JAPAN 2010で要素技術を出展
WIRELESS JAPAN 2010で携帯型多視点裸眼3Dディスプレイを参考出展
表 ： mova SH505iの主な仕様
図 ： mova SH505i　(アトランティック・ブルー)
表 ： mova SH251iSの主な仕様
図 ： mova SH251iS　(スカイ・シルバー)

KDDI　(au)　の動向
2009年2月 にWoooケータイ H001の販売を開始
図 ： Woooケータイ H001　(開閉時／折り畳み時)
図 ： Woooケータイ H001　(折り畳み開閉時)
表 ： Woooケータイ H001の主な仕様
CEATEC JAPAN 2008で3D液晶技術を展示

ソフトバンクモバイルの動向
2011年2月 からGALAPAGOS SoftBank 005SHの販売を開始
図 ： GALAPAGOS SoftBank 005SH　(リリー・ホワイト)
表 ： GALAPAGOS SoftBank 005SHの主な仕様
表 ： 3D映像コンテンツのプリインストール一覧
2010年12月 からGALAPAGOS SoftBank 003SHの販売を開始
図 ： GALAPAGOS SoftBank 003SH　(ミラノ・レッド／ネイビー・ブラック／ホワイト)
表 ： GALAPAGOS SoftBank 003SHの主な仕様
表 ： SH-03C／H001／003SH／005SHの仕様比較

4. シャープの動向

モバイル3Dを普及させたいシャープ
図 ： シャープによるモバイル3D市場への展開
2011年4月 から3Dコンテストに CG・アニメーション部門を新設
表 ： シャープ スマートフォン3DコンテストにおけるCG・アニメーション部門の概要
2011年1月 にスマートフォン3Dコンテストの受賞作を発表
表 ： 第1回目のスマートフォン3Dコンテスト優秀作品（静止画部門）
表 ： 第1回目のスマートフォン3Dコンテスト優秀作品（動画部門）
2010年12月 から3Dコンテストを実施
コンテンツ拡充は重要課題
全国で3Dコンテンツ体験イベントを開催
表 ： シャープ スマートフォン3Dコンテストの概要
今後は3Dゲームなどのコンテストも企画
実は2002年にも3D液晶搭載端末を投入済み
フィーチャー・フォンへも3D液晶を搭載見込み
2010年11月 に端末発表会を開催
2010年4月 にタッチ・パネル対応3D液晶を発表
図 ： 新ディスプレイのイメージ
これまでのモバイル3D普及失敗要因

5. その他の動向

LYNX 3D SH-03Cに3Dコンテンツを提供したTXBB
エイチアイの動向
LYNX 3D SH-03Cに3D SAKANA+がプリインストール
eruptionSTがLYNX 3D SH-03Cに採用
2010年10月 からeruptionSTの販売を開始
表 ： MascotCapsule eruptionSTの主な特長
2010年5月 にeruptionの立体視対応を発表
2010年12月 に3D関連の調査結果を発表した日本エイサー
表 ： 3D立体視の利用動向に関する調査の概要
表 ： 3D立体視の利用動向に関する調査の主な調査結果

6. モバイル3Dの普及拡大と阻害要因

定番化するにはキラー・コンテンツが必須
【モバイル3Dの普及拡大要因】
3Dコンテンツの充実
他メーカの参入
携帯電話事業者の関心／注力度の高まり
Nintendo 3DSの登場も追い風に
図 ： モバイル3Dの普及拡大要因
【モバイル3Dの普及阻害要因】
キラー・コンテンツの不在
携帯電話端末の品揃え不足
ユーザの関心度の低さ
3D対応TVの普及の低さ

7. 関連リンク

表 ： 関連リンク （五十音順）

【商品概要】

商品名 ： モバイル3Dの動向と今後の展望
発 刊 ： 2011年03月
発 行 ： エムレポート
販 売 ： PLANiDEA SurveyReport運営事務局
判 型 ： A4判 28ページ
価 格 ：
報告書［PDF版］
15,750円 （本体価格 15,000円＋消費税 750円）

販売URL ：
http://surveyreport.planidea.jp/products/detail.php?product_id=420

■ 関連サイトURL

PLANiDEA ［SurveyReport］
http://surveyreport.planidea.jp/

■ 本件に関するお問合せ先

プラニディア合同会社 広報担当
URL ： http://planidea.jp/contact.html
E-Mail: info@planidea.jp

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com